HITACHI

FLORA 270W NW6

(Microsoft® Windows® 98 Operating System)

Windowsを使えるようにする

ー電源を入れてからー

1章 パソコンを始めよう

2章 もっと詳しく知るために

3章 ご購入時の状態に戻すには

マニュアルはよく読み、保管してください。
・製品を使用する前に、安全上の説明をよく読み、十分理解してください。
・このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

このマニュアルの使い方

このマニュアルでは、電源の入れ方、ポインティングパッドの使い方、電子マニュアルの使い方を説明します。

はじめて使うときは

1 章　パソコンを始めよう

パソコンの電源の入れ方とポインティングパッドの使い方を説明しています。パソコンを接続していない場合は、『パソコンを準備する』の 1 章をはじめにお読みください。

もっと知りたいときは

2 章　もっと詳しく知るために

電子マニュアルを使ってさまざまな設定方法を知ることができます。ここでは電子マニュアルの使い方を説明します。

パソコンを購入時の状態に戻したいときは

3 章　ご購入時の状態に戻すには

マニュアルの表記について

重要	重要事項や使用上の制限事項を示します。
ヒント	パソコンを活用するためのヒントやアドバイスです。
参照	参照先を示します。

マニュアルで使用している画面およびイラストは一例です。機種によっては、異なる場合があります。説明の都合で、画面のアイコンなどを省略している場合があります。

もくじ

1章

パソコンを始めよう

パソコンの電源をはじめて入れるときの操作とポインティングパッドの使い方について説明します。

『パソコンを準備する』の1章でパソコンの電源を入れてからお読みください。

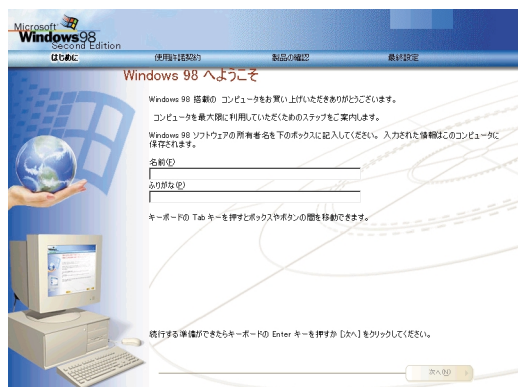
はじめて電源を入れるときは

はじめてパソコンの電源を入れたときは、Windows の使用許諾契約に同意して、Windows を使えるようにする必要があります。

電源を入れる

パソコンの電源スイッチを押すと、ディスプレイに [Windows 98 へようこそ] 画面が表示されます。

使用許諾契約に同意しよう

1 **[名前] に名前を入力する。必要に応じて [Tab] キーで [ふりがな] へカーソルを移動し、ふりがなを入力する。ふりがなは省略してもよい。**

2 **ポインティングパッドの上で指をすべらせ、画面上に表示されている を移動させて 次へ(N) に重ね、左のクリックボタンを 1 回押す。**

3 **[モデムを使って接続する] 画面が表示されたときは、[スキップ] ボタンをクリックし、手順 4 へ、[Windows ユーザー使用許諾契約] が表示されたときは、手順 5 に移る。**

4 **[ダイヤルのキャンセル] 画面が表示されたら、[はい] をクリックしてチェックマークを付け、[次へ] ボタンをクリックする。**

参照

電源の入れ方について→『パソコンを準備する』1 章の「電源を入れよう」

重要

◎ 無線 LAN モデルの場合は、無線 LAN ドライバーがインストールされて一度再起動した後、[Windows 98 へようこそ] が表示されます。

ヒント

★ 日本語を入力するには

1. ローマ字で読みがなを入力する

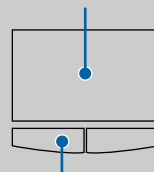
2. 目的の漢字になるまでスペースキーを押す

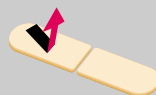
3. [Enter] キーで確定する

ヒント

★ 画面に表示されている を、「マウスポインター」と呼びます。

★ ここでは、パソコンのこの場所を使って操作します。

ポインティングパッド

クリックボタン

★ クリックボタンを 1 回押すことを、「クリック」といいます。

5 **[Windows ユーザー使用許諾契約] が表示されたら、を移動させて ◯ 同意する(A) に重ね、クリックする。**

▼ ◯ 同意する(A) が、◉ 同意する(A) になる。

6 **を移動させて 次へ(N) に重ね、クリックする。**

▼ [セットアップの完了] 画面が表示される。

7 **を移動させて 完了(F) に重ね、クリックする。**

▼ Windows のデスクトップ画面が表示される。

ヒント

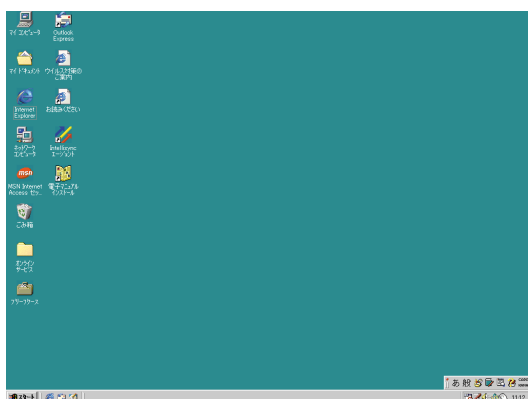
★ **操作を間違えたときは、戻る(B) にを重ね、左のクリックボタンをクリックします。一つ手前の画面に戻ります。**

電源を入れ直す

Windows の使用許諾契約などが終わったら、いったん電源を切ります。そのあと、もう一度電源を入れて、デスクトップ画面が表示されることを確認します。

電源を切る

電源を切る操作はとても大切です。電源は、この操作で切ってください。

1 スタート に を重ね、クリックする。

▼ スタートメニューが表示される。

2 Windows の終了(U)... に を重ね、クリックする。

▼ [Windows の終了] 画面が表示される。

ヒント

★ 電源スイッチを 1 秒押して離しても、手順 1 ～ 4 の操作と同じように電源が正しく切れます。

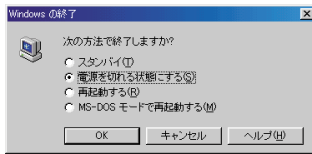
重要

◎ 電源スイッチは、4 秒以上押し続けないでください。Windows が強制終了されます。この場合、異常終了とみなされ、次回立ち上げ時にチェックプログラムが働くことがあります。異常がない場合は、そのあと正常に Windows が立ち上がります。

◎ 音声、動画ファイルを再生した状態で、Windows を終了させると正しく終了しない場合があります。Windows を終了する前に、音声、動画再生アプリケーションを終了してください。

◎ Windows を終了させるときに、「しばらくお待ちください」と表示されたまま、自動でパソコンの電源が切れない場合があります。この場合、「CONFIG.SYS 」ファイルをメモ帳などで開き、EMS ドライバー（EMM386.EXE ）などの 16 ビットドライバーについての記述を削除してください。

3 [電源を切れる状態にする] が選ばれていることを確認する。

▼[電源を切れる状態にする] 以外が選ばれているときは、[電源を切れる状態にする] にを重ね、クリックします。

4 OK にを重ね、クリックする。

▼画面が暗くなり、しばらくすると電源が切れ、電源ランプが消える。

電源を入れ直す

1 パソコンの電源スイッチを押す。

▼電源ランプが点灯し、デスクトップ画面が表示される。

追加セットアップ

無線 LAN を使う場合は、追加セットアップを行います。

■無線 LAN
・無線 LAN Client Manager

重要

◎ 一度電源を切り、再度電源を入れるときは、20 秒以上の間隔をあけてください。

ヒント

★ Windows のスタート画面が消えたあと、カーソルが表示された黒い画面の状態が続きます。デスクトップ画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。ディスプレイの種類によって、時間がかかる場合もあります。

重要

◎ パソコンの立ち上げ時にキーボードを連打しないでください。エラーメッセージが表示される場合があります。

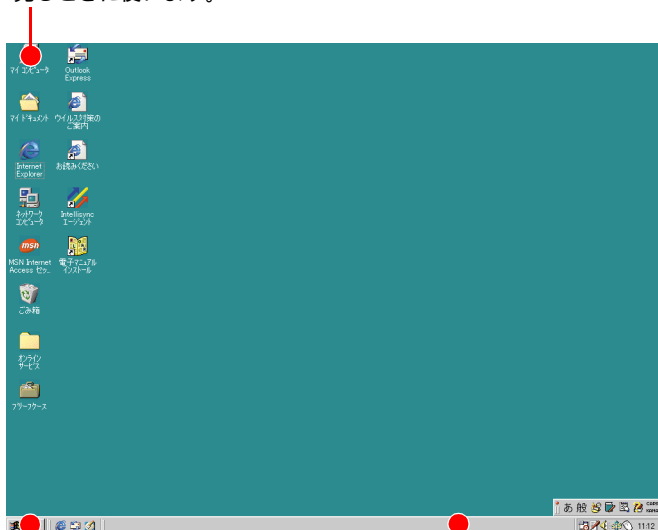
参照

追加セットアップ→電子マニュアル『使い勝手を良くする』の 4 章「追加セットアップ」

無線 LAN Client Manager の使い方→電子マニュアル『使い勝手を良くする』3 章の「付属ソフトウェアの使い方」

デスクトップを見る

Windows は、デスクトップ画面から操作を始めます。ここでは、デスクトップ画面に表示されている、基本的な部分について説明します。

［マイコンピュータ］アイコン
［マイコンピュータ］アイコンは、パソコンに記録された内容や、CD-ROM に記録された内容を見るときに使います。

［スタート］ボタン
［スタート］ボタンは、いろいろな操作を始めるときに使います。パソコンの電源を切るときも、［スタート］ボタンから操作を始めます。

タスクバー
タスクバーには、現在使っているアプリケーションの名前などが表示されます。

ヒント

★ 工場出荷時の設定では、電源が入っている状態で 15 分以上放置すると節電状態になり、画面の表示が消えます。キーボードやマウスを操作したり、電源スイッチを押すと復帰します。

重要

◎ 電源スイッチは、4 秒以上押し続けないでください。

◎ Windows には、いろいろな制限事項があります。デスクトップの［お読みください］をダブルクリックしてご参照ください。

ヒント

★ 壁紙や画面の色は、変更することができます。お好みに応じて変更してください。

参照

詳しくは→電子マニュアル『使い勝手を良くする』1 章の「ディスプレイの表示を変える」

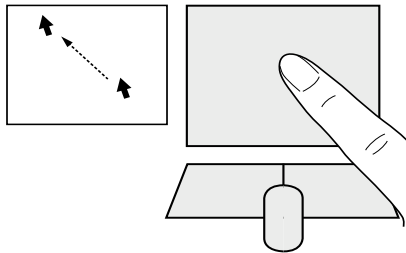
ポインティングパッドを使う

Windows は、ポインティングパッドやマウスを使って操作します。
はじめにポインティングパッドの基本的な使い方を覚えましょう。

指の置き方

ポインティングパッドの上に軽く人さし指を置き、左クリックボタンの上に軽く親指を置きます。

マウスポインターの移動

ポインティングパッドの上で指を動かすと、その動きに合わせてマウスポインターが画面上を動きます。

ポイント

ポインティングパッドの上で指を動かし、マウスポインターを移動し目的の位置に合わせることを、「ポイント」といいます。

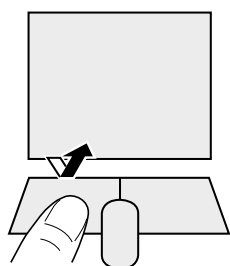
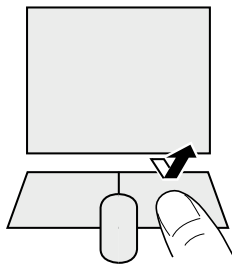
ヒント

★ スクロールボタンを使用すると、画面表示の移動が簡単になります。

参照

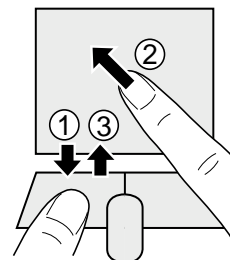
スクロールボタンの使い方について
→電子マニュアル『使い勝手を良くする』1章の「ポインティングパッドを調整する」「画面をスクロールしよう」

クリック

クリックボタンを 1 回押します。

ダブルクリック

左のクリックボタンを、2 回続けて押します。

ドラッグ、ドラッグアンドドロップ

■クリックボタンで行う場合
左のクリックボタンを押したまま、ポインティングパッドの上で指を動かすことをドラッグといいます。画面上で範囲を指定するときなどに使います。
また、アイコンなどを左のクリックボタンを押して選び、ボタンを押したまま別の場所に移動して指をはなすことを、「ドラッグアンドドロップ」といいます。ファイルの移動やコピーなどに使います。

■ポインティングパッドで行う場合
ポインティングパッドを軽く 2 回続けて押し、そのまま指を離さず動かすとドラッグになります。別の場所に移動して指を離すとドロップできます。

ヒント

★ ダブルクリックするときの速さは、[マウスのプロパティ] 画面で調節できます。

★ Windows で設定を変更すると、1 回のクリックでフォルダーを開いたり、アプリケーションを立ち上げたりできます。設定の変更については、Internet Explorer のヘルプを表示し、[キーワード] タブ内にある [シングルクリック] をご参照ください。

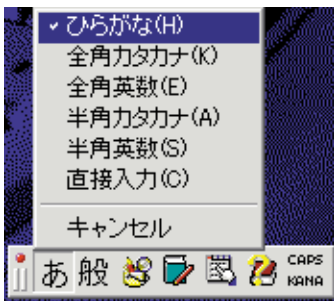
参照

ポインティングパッドの設定の変更について→電子マニュアル『使い勝手を良くする』1 章の「ポインティングパッドを調整する」

文字を入力する

日本語入力をオン - オフする

文字には半角文字と全角文字があります。半角文字は直接入力することができますが、全角文字を入力するには、日本語入力をオンにします。

・［半角／全角］キーを押す。
・IME タスクバーの［あ］または［A］をクリックし、［ひらがな］または［直接入力］をクリックする。

ヒント
★ 半角（英数字）文字：
abcdefg1234・・・

★ 全角（日本語）文字：
ａｂｃｄｅｆｇ あいうえお
日本語・・・

特殊文字を入力する

ツールバーの アイコン（［IME パッド］）をクリックし、アプレットメニューの［手書き］ボタンをクリックして［文字一覧］を表示させる。

ローマ字／かな入力を切り替える

[Alt] キーを押したまま［カタカナ ひらがな］キーを押す。
押すたびに、ローマ字入力とかな入力が交互に切り替わります。
かな入力のときは、Microsoft IME のツールバーの右の KANA が KANA に表示されます。

ローマ字入力のとき

キー上の文字を打ち分ける

文字を打ち分けるには、[Shift] キーを使います。

■[Shift] キーを押しながら文字キーを押す
上の段の文字を入力できます。
文字キーをそのまま押すと下の段の文字を入力できます。
アルファベットが刻印されているキーは大文字と小文字が切り替わります。
■[Shift] キーを押しながら、[ˆ] [＼] キーを押す

それぞれ、" ～ " や " __ " の記号が入力できます。
ただし、" 々 "、" £ "、" ¢ "、" | "、"『』"、" ¬ " などの文字は特殊文字のため該当のキーを入力しても、入力できません。

参照
特殊文字の入力について→ 1 章の「特殊文字を入力する」(P.11)

英大文字と英小文字を切り替える

■完全に切り替える [Caps Lock] キー
・Caps Lock をオンにすると大文字を入力できます。
・Caps Lock をオン／オフするには、[Shift] キーを押したまま [Caps Lock] キーを押します。
■一時的に切り替える [Shift] キー
・Caps Lock がオフの状態で [Shift] キーを押すと、押している間は大文字を入力することができます。
・Caps Lock がオンの状態で [Shift] キーを押すと、押している間は小文字を入力することができます。

ヒント
★ Microsoft IME ツールバーのヘルプボタンをクリックし、[目次とキーワード] をクリックすると、文字の入力や変換方法の詳しい解説が参照できます。

ヘルプボタン

2 章

もっと詳しく知るために

ここでは、このパソコンの電子マニュアルと Windows のヘルプの使い方について説明します。

パソコンと Windows の使い方についてもっと詳しく知りたいときにお読みください。

電子マニュアルを使う

電子マニュアルでパソコンの使い方などを調べましょう。
電子マニュアルは、付属のマニュアルをパソコンで読めるようにしたものです。マニュアルの情報を画面で確認できます。
また、付属のマニュアルに加えて『使い勝手を良くする』、『ハードウェアを使いこなす』、『用語集』の 3 つの電子マニュアルもあります。あわせてご覧ください。

電子マニュアルを開く

電子マニュアルを開きましょう。

1 CD-ROM ドライブなどに『活用百科』CD を入れる。

ヒント

★ CD-ROM ドライブ名は、DVD-ROM などの CD-ROM 対応ドライブ名です。

2 デスクトップの [電子マニュアルインストール] アイコンをダブルクリックする。

▼ [電子マニュアルインストール Ver X.XX] 画面が表示される。

3 [OK] ボタンをクリックする。

▼ 電子マニュアルがインストールされ、[電子マニュアルインストール] アイコンが [電子マニュアル] アイコンに変わる。

4 「電子マニュアルのインストールが終了しました。引き続き Cyber Support をセットアップします。」とメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックする。

5 「CyberSupport for HITACHI のセットアップを開始します。よろしいですか ?」とメッセージが表示されたら、[はい] ボタンをクリックする。

▼ CyberSupport がインストールされ、データベースが作成される。

6 「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択して [完了] ボタンをクリックする。

▼パソコンが立ち上げ直される。

7 [電子マニュアル] アイコンをダブルクリックする。

▼ [活用百科] メニューが表示される。

8 読みたいマニュアルをクリックする。

▼使用許諾の画面が表示されます。

9 [同意] ボタンをクリックする。

▼選択した電子マニュアルが表示される。

10 マウスポインターが指差しアイコンに変わったところをクリックする。

▼選択した電子マニュアルのページが表示される。

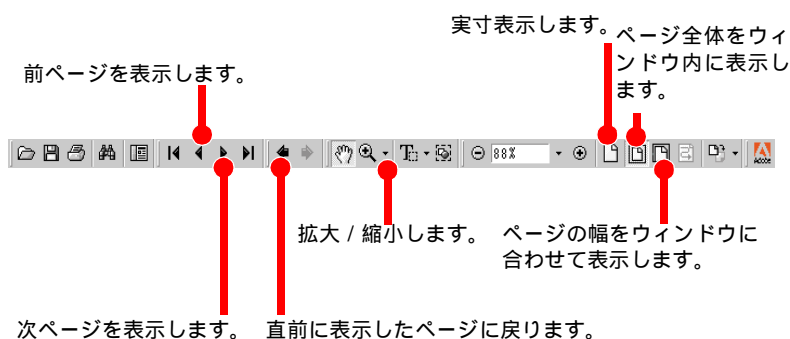
ヒント

★「Acrobat Reader」については、「HITAC カスタマ・アンサ・センタ」までお問い合わせください。アドビシステムズ株式会社では、お問い合わせを直接受け付けていません。

★電子マニュアルを CD-ROM から直接読むときは、『活用百科』CD を CD-ROM ドライブなどに入れ、[Win98] ─［電子マニュアル] フォルダーの中の menu.html をダブルクリックします。ただし、『パソコンヒント集』と『用語集』、『内蔵モデム取扱説明書』は読めません。

ヒント

★使用許諾の画面は 2 回目以降は表示されません。

11 ボタンをクリックしてページを読み進める。

12 参照先のページを開くときは、緑色の文字をクリックする。

13 電子マニュアルを閉じるときは、画面右上の [×] をクリックする。

ヒント

★ 拡大するときは、 をクリックし、拡大する場所をクリックします。縮小するときは、[Ctrl] キーを押しながら縮小する部分をクリックします。

★ [表示] メニュー－ [フルスクリーン] をクリックすると、画面全体に表示されます。[Esc] キーを押すと、元の表示に戻ります。

参照

詳しい使い方について→ [Acrobat Reader] の [ヘルプ] メニュー－ [Reader のヘルプ]

知りたいことをヘルプやマニュアルから探す

CyberSupport for HITACHI(以下、CyberSupport) を使うと、パソコンについて知りたいことを、ヘルプやマニュアルの中から探し出せます。

1 [スタート] ー [プログラム] ー [CyberSupport for HITACHI] をクリックする。

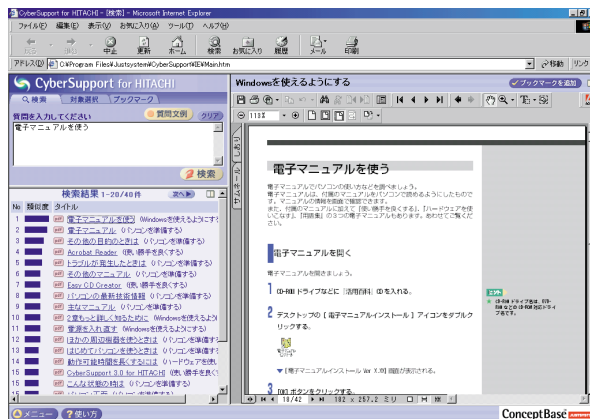
▼ [CyberSupport for HITACHI へようこそ] が表示される。

2 「次回から、このダイアログボックスを表示しない」にチェックを付け、[閉じる] ボタンをクリックする。

3 [対象選択] をクリックし、検索対象にしたいマニュアル、ヘルプにチェックをつけ、質問を入力して [検索] ボタンをクリックする。

▼ 類似度が高い順に、検索結果が表示される。

4 検索結果をクリックする。

▼ 検索されたページが表示される。

参照

インストール方法→「使い勝手を良くする」４章の「アプリケーションをセットアップする」

ヒント

★ CyberSupport for HITACHI については、「HITAC カスタマ・アンサ・センタ」までお問い合わせください。株式会社ジャストシステムでは、お問い合わせを直接受け付けていません。

印刷する

1 [ファイル] メニューの [印刷] をクリックする。

▼ [印刷] が開く。

2 印刷の設定を変えたいときは、[設定] ボタンをクリック、さらに [プロパティ] ボタンをクリックして設定する。
１枚の用紙に 2 頁分印刷したいときは、プリンターの [プロパティ] で設定する。画面の表示と印刷物で文字の形や位置が異なるときは、プリンターの [プロパティ] で、TrueType フォントを使って印刷する設定にする。

3 [プリント範囲] でプリントするページを指定し、[OK] ボタンをクリックする。

ヒント

★ 設定方法は、プリンターの種類によって異なります。プリンター付属のマニュアルをご参照ください。また、プリンターによっては設定できない場合もあります。

ヒント

★ 表紙の印刷には時間がかかります。また、「全ページ」を指定すると表紙から裏表紙までの全ページが印刷されるため時間がかかります。

重 要

◎ 連続印刷すると、イラストなどが印刷されなかったり、欠けたりすることがあります。その時は、該当ページを指定し、印刷してください。

わからないときは、ヘルプで！

Windows の使い方がわからないときは、ヘルプを使って調べましょう。
ヘルプを使うと、調べたい内容を目次から探したり、思いつく言葉で調べることができます。
ヘルプでの調べ方には、次の方法があります。
・目次から使い方を調べる
・用語から使い方を調べる
・指定した用語のあるページを調べる
・操作画面の項目の意味を調べる

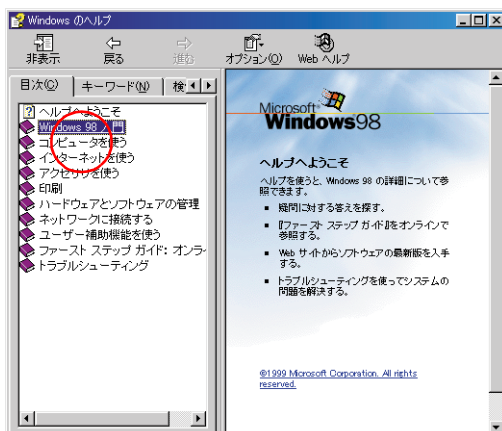
目次から使い方を調べる

わからないことをヘルプの目次から調べましょう。

1 [スタート] ボタンをクリックし、[ヘルプ] をクリックする。

▼Windows のヘルプが表示される。

2 のある項目をダブルクリックする。

▼画面が切り替わる。

3 ❓のある項目をダブルクリックする。

▼画面の右側に項目の説明が表示される。

4 説明を読む。

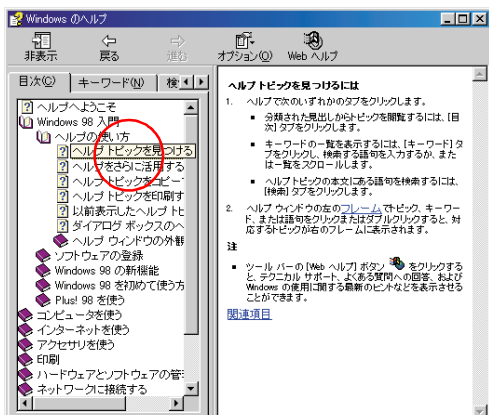
用語から使い方を調べる

わからないことを、思いつく用語から調べましょう。

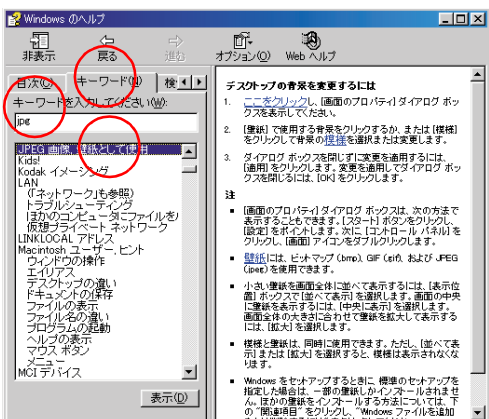
1 [スタート] ボタン－ [ヘルプ] をクリックする。

2 [キーワード] タブをクリックする。

▼画面が切り替わる。

3 [キーワードを入力してください] 欄に調べたい用語を入力する。

▼関連する項目が表示される。

ヒント

★ 説明が隠れているときは、スクロールしてください。また、ウィンドウを大きくして見やすくすることもできます。

4 調べたい項目をダブルクリックし、説明を読む。

指定した用語のあるページを調べる

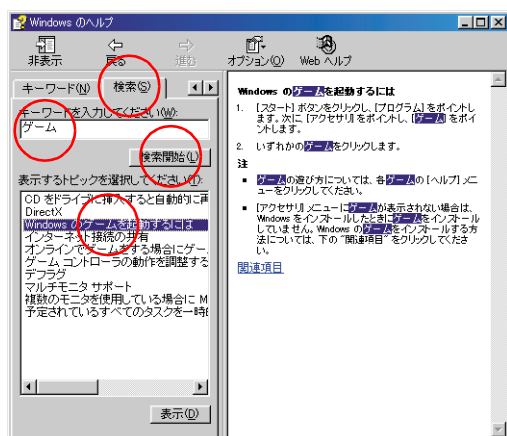
わからないことを、指定した用語のあるページから調べましょう。

1 [スタート] ボタン－ [ヘルプ] をクリックする。

2 [検索] タブをクリックする。

▼画面が切り替わる。

3 [キーワードを入力してください] 欄に調べたい用語を入力し、[検索開始] ボタンをクリックする。

▼関連する項目が表示される。

4 調べたい項目をダブルクリックし、説明を読む。

操作画面の項目の意味を調べる

いろいろな設定などを行う画面で、わからない項目の意味を調べてみましょう。例として、[画面のプロパティ] 画面を説明します。

1 画面右上の [?] をクリックする。

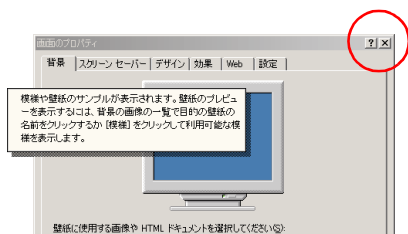
▼マウスポインタの形が?に変わります。

参照

[画面のプロパティ] の表示方法→電子マニュアル『使い勝手を良くする』1 章の「ディスプレイの表示を変える」

2 調べたい項目をクリックする。

▼説明のポップアップが表示される。

3 章

ご購入時の状態に戻すには

パソコンをご購入時の状態に戻したいときは、パソコンをセットアップし直します。また、パソコンの使用中にエラーが何回も発生したり、パソコンが立ち上がらないときも、セットアップし直してください。

準備する

次の準備を行ってください。

必要なファイルをバックアップする

ご購入時の状態に戻すと、ご購入後に作成したファイルや、追加したアプリケーションなどが削除されます。FD や CD-R、CD-RW などのディスクに必要なファイルをコピーしてバックアップを行ってください。バックアップしたファイルを戻せるように元のフォルダーなど保存先も控えてください。

インターネットの設定を控える

ご購入時の状態に戻したあと、加入しているプロバイダーに再び接続できるように、ユーザー名、パスワード、アカウント名など、インターネットの設定に必要な情報をメモしてください。通常は、契約時にプロバイダーから送付された書類にこれらの情報が記載されています。その場合は必要ありません。

拡張機器を取り外す

ご購入後に拡張機器や拡張ボードなどを取り付けている場合は、取り外してください。

このあとの作業の流れ

ご購入時の状態に戻す場合と、パーティションを設定する場合とで、作業の流れが異なります。

ご購入時の状態に戻す場合

1 BIOS の設定をご購入時の状態に戻す。

BIOS の設定を変更している場合は、BIOS をご購入時の状態に戻してください。

参照

詳細について→「BIOS の設定を戻す」(P.26)

2 一括セットアップする。

▼ これを行うと、パソコンの HDD がご購入時の状態に戻ります。

参照

詳細について→「一括セットアップする」(P.30)

パーティションを設定する場合

パーティションの設定が必要なときは、一括セットアップの前に行います。

参照

詳細について→「パーティションを設定するときは」(P.32)

BIOS の設定を戻す

BIOS(バイオス) は、パソコンのメモリーや HDD などハードウェアの環境を設定をするソフトウェアです。日常使う場合は、操作する必要がありません。マニュアルで説明する以外の設定は、変更しないでください。

ヒント

★ パソコンが正しく動かなくなってお問い合わせしたときに、BIOS の設定を確認したり変更するように言われることがあります。

BIOS メニューを表示する

BIOS の立ち上げ方と終わり方について説明します。

立ち上げる

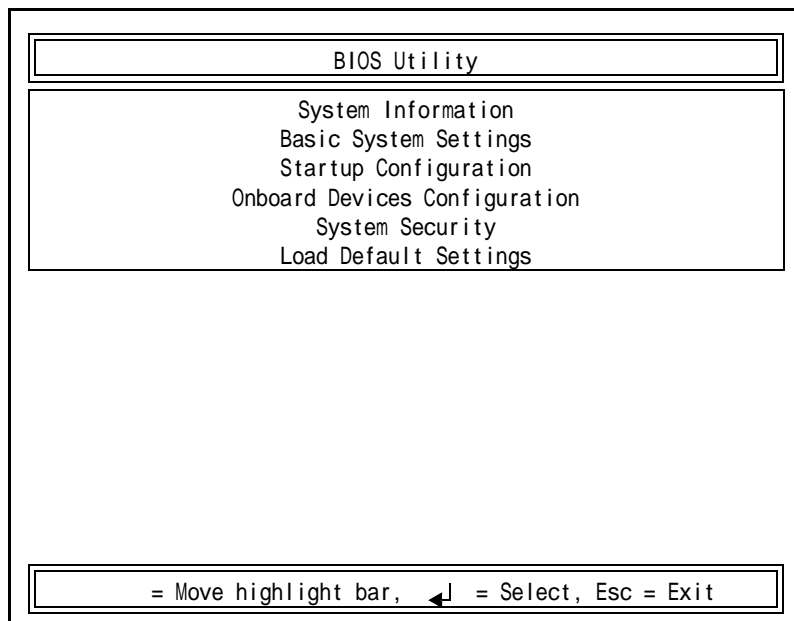
1 パソコンの電源を入れる。

パソコンの立ち上げ中、画面下部に「Press <F2> to enter Setup, <F12> to enter Multi Boot Selection Menu」と表示されたら、[F2] キーを押す。

▼ BIOS メニューが表示される。

```
BIOS Utility

System Information
Basic System Settings
Startup Configuration
Onboard Devices Configuration
System Security
Load Default Settings

↑ ↓ = Move highlight bar,  ↵  = Select, Esc = Exit
```

終了する

1 BIOS Utility 画面で [Esc] キーを押す。

▼メッセージが表示される。

・BIOS の設定を変更している場合

```
Settings have been changed.
Do you want to save CMOS settings?

        [Yes]     [No]
```

・BIOS の設定を変更していない場合

```
Do you really want to exit SETUP?

        [Yes]     [No]
```

2 [Yes] を選び、[Enter] キーを押す。

▼BIOS メニューが終了し、パソコンが立ち上げ直されます。設定を変更しているときは、その内容は保存されます。

ヒント

★ 変更した内容を保存しないときは、[No] を選んでください。

BIOS 設定を初期化する

BIOS の設定をご購入時の状態に戻す (初期化する) ことで解決できる問題もあります。購入時の状態から設定を変更している場合は、設定内容をあらかじめ控えておき、BIOS を初期化したあとに設定し直してください。

1 パソコンの電源を入れる。

パソコンの立ち上げ中、画面下部に「Press <F2> to enter Setup, <F12> to enter Multi Boot Selection Menu」と表示されたら、[F2] キーを押す。

▼BIOS Utility が表示される。

2 [Load Default Settings] を選び、[Enter] キーを押す。

```
BIOS Utility

System Information
Basic System Settings
Startup Configuration
Onboard Devices Configuration
System Security
Load Default Settings

↑↓ = Move highlight bar, ↵ = Select, Esc = Exit
```

▼初期化するかどうか確認のメッセージが表示される。

3 [Yes] を選び、[Enter] キーを押す。

```
Do you want to load default settings?

[Yes]    [No]
```

▼BIOS Utility の画面に戻る。

重要

◎ BIOS の設定を初期化しても、内蔵タイマーの日付と時刻は変更されません。

ヒント

★ PC カードを取り付けているときは、取り付けた PC カードを
◎ パソコンから取り外してください。外さないと正しく動作しない場合があります。

参照

PC カードの取り外しについて→電子マニュアル『ハードウェアを使いこなす』2 章の「PC カード」

4 [Esc] キーを押す。

▼設定内容を保存する確認のメッセージが表示される。

5 [Yes] を選び、[Enter] キーを押す。

```
Settings have been changed.
Do you want to save CMOS settings?

      [Yes]     [No]
```

▼設定した内容が保存され、セットアップメニューが終了し、パソコンが立ち上げ直されます。

一括セットアップする

この作業を行うと、一部のアプリケーションを除いて、パソコンのHDD をご購入時の状態に戻します。

あらかじめ、パソコン付属の次のディスクを用意してください。
・『Backup CD-ROM』

1 電源を入れたら、すぐに『Backup CD-ROM』を CD-ROM ドライブなどに入れる。

▼メニューが立ち上がる。

```
************************************
**                                **
**            メニュー            **
**                                **
************************************
:(1) 一括インストール              :
+----------------------------------+
:(2) 終了（MS-DOS プロンプトに戻る）:
+----------------------------------+
      項目を入力してください (1～2)?
```

2 [1] キーを押す。

▼次のメッセージが表示される。

```
************************************
** ハードディスクの内容を削除して、出荷時の状態 **
** （一部を除く）に戻します。                   **
** 必要なデータは、バックアップを取ってください。 **
************************************
:(1) 次へ ( インストールを継続する )  :
+----------------------------------+
:(2) 戻る ( 一つ前のメニューに戻る )  :
+----------------------------------+

[ 警告 ]  (1) を選択した場合は、ハードディスクのデータは全て
          削除されます。必要なデータがある場合は、(2) を選択
          して、処理を中止してください。
          データのバックアップを取った後、再度本ディスクで
          パソコンを再起動してください。
              項目を入力してください (1～2)?
```

重要

◎ 「パーティションサイズが不正もしくは、起動ドライブが検出できませんでした。～」とエラーメッセージが表示される場合は、HDD に問題があります。FDISK を実行してパーティションを設定し直してください。

参照

FDISK について「パーティションを設定するときは」(P.32)

3 [1] キーを押す。

4 [Y] キーを押す。

▼一括セットアップが開始される。

5 画面の指示に従って、CD-ROM を取り出したあと、[Ctrl] キーと [Alt] キーを押したまま、[Delete] キーを押す。

▼パソコンが立ち上げ直され、[Microsoft Windows へようこそ] が表示される。

6 画面の指示に従って、Windows 環境をセットアップする。

◎ 内蔵ドライブからのみ一括セットアップが可能です。
SCSI カードなどを使用した外付けドライブからのインストールは行うことができません。

参照

詳細について→1章の「はじめて電源を入れるときは」(P.4)

パーティションを設定するときは

HDD を複数の領域に分け、それぞれ別のドライブとして使用する場合にはFDISKでパーティション(使用可能領域)を設定し直します。

1 パソコンの電源を入れ、すぐに『Backup CD-ROM』を CD-ROM ドライブなどに入れる。

▼「メニュー」画面が表示される。

```
*****************************
**            メニュー            **
*****************************
:(1) 一括インストール                    :
+------------------------------------------------+
:(2) 終了 (MS-DOS プロンプトに戻る)        :
+------------------------------------------------+
        項目を入力してください (1～2)?
```

2 [2] キーを押す。

3 MS-DOS の画面が表示されたら fdisk と入力し、[Enter] キーを押す。

4 「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか(Y/N)」と表示されたら、[Y] キー、[Enter] キーを押す。

▼FDISK オプションが立ち上がる。

```
              FDISK オプション
現在のハードディスク :1

次のうちからどれか選んでください :

1.MS-DOS 領域または論理 MS-DOS ドライブを作成
2. アクティブな領域を設定
3. 領域または論理 MS-DOS ドライブを削除
4. 領域情報を表示
5. 現在のハードディスクを変更　＊
```

＊ HDD を増設している場合に表示

重要

◎ ある程度パソコンについての知識を必要とする説明があります。初心者の方や HDD の知識をあまりお持ちでない方は、お勧めできません。特に問題がない場合は、ご購入時のままの領域でお使いください。

◎ パーティションを設定し直すには、MS-DOS 領域を削除します。削除すると HDD 内のデータはすべて削除されます。あらかじめ CD-R やその他の媒体に必要なファイルのバックアップを取ってください。インターネットやメールなどの設定も控えておいてください。

ヒント

★ [Y] キーを押すと FAT32 でパーティションが設定され、[N] キーを押すと FAT16 でパーティションが設定されます。標準は FAT32 です。

★ FAT16 で作成しても、一括セットアップを行うと、FAT32 に変更されます。

ヒント

★ 増設 HDD のパーティションを設定したり MS-DOS 領域を削除したりするときは、ここで「5. 現在のハードディスクを変更」を選び、操作を行う HDD を変更してください。通常、1 はパソコン標準の HDD 、2 は増設 HDD です。

5 「3. 領域または論理 MS-DOS ドライブを削除」を選ぶ。

▼次の画面が表示される。

```
MS-DOS 領域または論理 MS-DOS ドライブを削除
現在のハードディスク :1

次のうちからどれか選んでください :

1. 基本 MS-DOS 領域を削除
2. 拡張 MS-DOS 領域を削除
3. 拡張 MS-DOS 領域内の論理 MS-DOS ドライブを削除
4. 非 MS-DOS 領域を削除
```

6 「1. 基本 MS-DOS 領域を削除」を選ぶ。

▼次の画面が表示される。

```
                    基本 MS-DOS 領域を削除
現在のハードディスク :1

領域  状態  種類  ボリュームラベル  M バイト  システム  使用
C:1    A   PRI DOS                  xxx      FAT32    XXX%


ディスクの総容量は xxxx M バイトです .(1M バイト =1048576 バイト )

注意 !   削除した基本 MS-DOS 領域のデータはなくなります .
どの基本領域を削除しますか ...........?[1]

FDISK オプションに戻るには ESC キーを押してください。
```

7 メッセージを確認し、[Enter] キーを押す。

▼「ボリュームラベルを入力してください .... ? [ ]」と表示される。

8 [Enter] キーを押す。

▼「よろしいですか (Y/N)............. ? [N]」と表示される。

9 [Y] キー、[Enter] キーを押す。

▼「基本 MS-DOS 領域を削除しました。」と表示される。

ヒント

★ 複数のパーティションを設定しているときは、基本 MS-DOS 領域以外の領域に対し「3. 拡張 MS-DOS 領域内の論理 MS-DOS ドライブを削除」を実行して論理ドライブを削除したあと、「2. 拡張 MS-DOS 領域を削除」を実行して拡張 MS-DOS 領域を削除します。

★ あらかじめ、ボリュームラベルを半角文字または削除してから「fdisk」を実行してください。

10 [Esc] キーを押す。

▼FDISK オプションの画面に戻る。

11「1.MS-DOS領域または論理MS-DOSドライブを作成」を選び、次のメニューで「1. 基本 MS-DOS 領域を作成」を選ぶ。

▼「基本 MS-DOS 領域に使用できる最大サイズを割り当てますか〜」と表示される。

12 最大にするときは、[Y] キー、[Enter] キーを押し、手順 18 へ移る。任意に領域を決めてドライブを作成する場合は、[N] キー、[Enter] キーを押す。「領域のサイズを M バイトか全体に対する割合 (%) で入力してください。〜」と表示されたら、パーティションに割り当てる領域の数値を入力し、[Enter] キーを押す。「基本 MS-DOS 領域を作成しました」と表示されたら、[Esc] キーを押す。

13「1.MS-DOS領域または論理MS-DOSドライブを作成」を選び、次のメニューで「2. 拡張 MS-DOS 領域を作成」を実行する。

▼「領域のサイズを M バイトか全体に対する割合 (%) で入力してください。〜」と表示される。

14 [Enter] キーを押す。残りの領域でドライブが作成される。

▼残りの領域でドライブが作成され、「拡張 MS-DOS 領域を作成しました」と表示される。

15 [Esc] キーを押す。

▼「論理ドライブは定義されていません。」と表示されたあと、しばらくして「論理ドライブのサイズを M バイトか全体に対する割合 (%) で入力してください。」と表示される。

16 [Enter] キーを押すと、残りの領域で論理ドライブが作成される。任意に領域を決めてドライブを作成する場合は、領域の数値を入力し直して [Enter] キーを押す。

▼「拡張 MS-DOS 領域も含め、使用可能な領域はすべて論理ドライブに割り当てられています。」または、「論理ドライブを作成しました。」と表示される。

ヒント

★ [Y] キー、[Enter] キーを押して作成したドライブがドライブ C のときは、自動で立ち上げドライブとして設定されます。

★ 任意に領域を決めて作成したドライブは、立ち上げドライブとして設定されません。「2. アクティブな領域を設定」を実行して、立ち上げドライブとして設定してください。

★ 立ち上げドライブの領域の大きさが、一括セットアップするデータより小さい場合は、一括セットアップ時、セットアップできる HDD の最大領域まで自動で割り当て直します。

17 [ESC] キーを 2 回押す。

18「変更を有効するには、コンピュータを再起動してください。」と表示されたら、[ESC] キーを押す。

▼A:\> と表示される。

19 [Ctrl] キーと [Alt] キーを押したまま、[Delete] キーを押す。

▼[メニュー] 画面が表示される。

20 一括セットアップを行う。

ヒント

★ 拡張パーティション (拡張 MS-DOS 領域) を作成したときは、再セットアップしたあと、拡張パーティションのドライブをフォーマットしてください。基本パーティション (ドライブ C) は、一括セットアップを行うと、自動フォーマットされます。

参照

一括セットアップの方法ついて「一括セットアップする」(P.30)

さくいん

他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

このマニュアルにおいて説明されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティー契約のもとに供給されています。ソフトウェアおよびマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約に基づき同意書記載の管理責任者の管理のもとでのみ使用することができます。

それ以外の場合は該当ソフトウェア供給会社の承諾なしに無断で使用することはできません。

・Microsoft、MS-DOS、Windows は、米国 Microsoft Corp. の登録商標です。

・その他、各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

Windows を使えるようにする

ー電源を入れてからー

初 版　2002 年 4 月

株式会社　日立製作所
インターネットプラットフォーム事業部

〒 243-0435 神奈川県海老名市下今泉 810 番地

このマニュアルは、再生紙を使用しています。

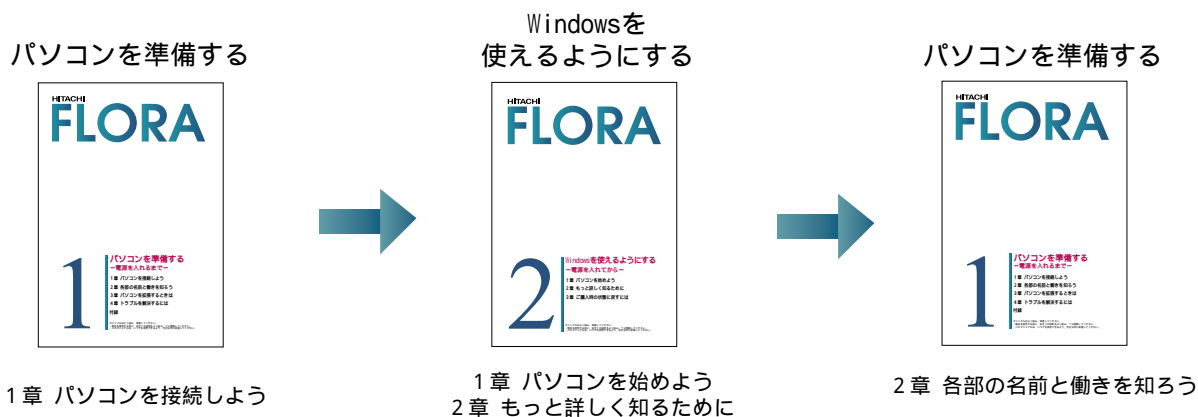
NW0612000-1

マニュアルの使い方

はじめてパソコンを使うときは

1章 パソコンを接続しよう

1章 パソコンを始めよう
2章 もっと詳しく知るために

2章 各部の名前と働きを知ろう

はじめてパソコンを使うときは、マニュアルの各章を→の順に読みながらパソコンを操作しましょう。
使いながら、パソコンとWindowsの基本的な操作を学ぶことができます。

電子マニュアルを見るには

Windowsを
使えるようにする

2章
もっと詳しく知るために

困ったときは

パソコンを準備する

4章
トラブルを解決するには

使い勝手を良くする
（電子マニュアル）

5章 パソコンQ&A

Windowsを
使えるようにする

3章 ご購入時の状態に戻すには

パソコンの調子がおかしいときは、マニュアルの各章を→の順に読むことをお勧めします。
パソコンをご購入時の状態に戻す必要があるときは、さらに→の順にお読みください。

HITACHI FLORA 270W NW6

Windowsを使えるようにする―電源を入れてから―

NW0612000-1